

令和元年度 事業報告書(児童養護施設)

自 平成 31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日

社会福祉法人 聖 母 会

施設名: 天使の園

施設長 倉知 香美 印

1. 施設の概要

所在地 〒061-1121 北広島市中央4丁目5-7	電話番号 011-372-3520 FAX番号 011-372-1894 メール tenshinosen@tuba.ocn.ne.jp ホームページ https://www.tenshiangel-kids.jp	定 員 数 児童養護施設 暫定定員 62名 地域小規模児童養護施設 6名 児童家庭支援センター
----------------------------------	---	--

2. 基本方針・重点課題の実行と評価

1) 基本方針・重点課題の実行と評価 ・衣食住の環境を整えることを日常から伝えてきた。職員一人一人の捉え方が異なりその結果、生活環境に差が見られた。 ・小規模ユニット化は多目的ホールを中学生女子居室に改築した。児童はくつろいだ様子がみられ落ち着いた生活を送っている。学生の宿直者を採用したが授業などの都合により配置できないことも多々あり安定しなかった。 ・連絡漏れが多く支援が滞ったことがあった。情報共有の徹底を図ることが優先課題である。 ・性教育は計画通り行うことができた。 ・地域小規模児童養護施設とのコミュニケーションも年毎によくなってきた。 ・年度末の2月から新型コロナウイルス感染が発症し、予防対策に努めた。備蓄品の把握、感染予防の意識付けを改めて考えさせられ今後の検討事項としたい。	2) 事業計画の基本方針と重点課題 ・子ども達が安心して生活できるよう環境を整える ・本体施設の小規模化ユニット化に着手するスタートの年であるため職員全体に都度説明しつつ理解と協力を得て行っていく。 ・「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」を徹底して行い支援のスムーズ化を図りながらチームワークで育てていく。 ・性教育を継続して行う。 ・地域小規模児童養護施設の入所児の見直しをする。孤立しないよう本体施設とのコミュニケーションを図る ・災害対策を具体的に検討する(特に停電時の電話、自家発電機)
---	---

3. 人材育成計画の評価

1) 人材育成計画の評価 ・新規採用者は無事1年を経過した。慣れ始めた様子が伺えるが個々の能力に差が少しずつ見られた。今後は特徴などを見極めつつ育て、定着を図っていききたい。 ・核となる中堅職員の不足、また経験不足があり統率力に欠ける雰囲気であった。若年層が自覚が強まり成長してきた。 3) 次年度への課題事項 ・経験年数の豊富な2名の職員が退職することにより、さらに若い職員の意識の高まりが必要となってくる。引き続き風通しのよい職場環境づくりを目指す。組織体制の見直しをしながらリーダーの育成に力を入れる。	2) 事業計画の人材育成計画 ・本体施設の小規模ユニット化への移行にあたり、6名新規採用した。新卒の若い職のため焦らず育てていく。副担当者として役割を持たせ平成31年は「慣れる」事を重点に置く。経験年数によって立場・役割を自覚すると同時に必要な研修への参加を促す。 ・横の繋がりが(同年代同士)、縦のつながり(先輩後輩)を大切にしつつ困難な時に相談できるような雰囲気づくりを心がける。風通しのよい職場環境(情報共有、自分の意見を表現できる場があるなど)
---	--

4. 利用者処遇

1) 利用者処遇の評価 ・職員間の情報共有は徹底とまではいかず不備があった。今後伝達方法を再確認し、漏れがないようにする必要がある。職員が確保できたため、より個別対応ができた。若い職員が多いため年齢の近い中高生への対応に戸惑うことがみられ職員同士の協力が必要だった。	2) 事業計画の重点事項 ・発達障害、知的障害の子どもたちが増えているため個別対応を図る。入所児全体の中で中学生層が多く占めるようになった。思春期を迎え多感な年頃のため、また性的興味が見れることも意識し、職員間の情報を共有しながら支援する。
--	---

5. 研修結果

1) 法人内研修

事業計画 有・無	研修会名	研修内容	参加 人数
有	聖母会施設長・事務研修会	働き方改革・同一労働同一賃金等	2名

2) 施設内研修

事業計画 有・無	研修会名	研修内容	参加サービス区分	参加 人数
有	アンガーマネジメント研修(2回)	怒りの感情と上手に付き合うトレーニング	児童養護施設	40名
無	性教育研修	中高生児童と職員を対象にエイズ・妊娠・性感染症の研修	児童養護施設	20名

備考 介護保険等の必要な研修会も記載。例) 虐待防止研修会

3) 施設外研修

事業計画 有・無	研修会名	研修内容	主催者	参加 人数
有	児童養護施設職員研修会	児童養護施設の現状と課題について	北海道児童養護施設協議会	6名
有	日本カトリック児童施設協会全国会議	生命の尊厳を実践現場から考える	日本カトリック児童施設協会	1名
有	人間と性教育研究協議会研修会	児童養護施設で暮らす子どもたちの生きる力を育むために	人間と性教育研究協議会	2名
有	児童養護施設職員研修会道南支部	子どもの権利擁護について	北海道児童養護施設協議会	2名
有	児童福祉施設(指導員・保育士)研修会	施設職員スキルアップ講座	北海道社会福祉協議会	4名

6. 職員の在籍人員に関する事項(令和2年3月31日)現在

1) 児童養護施設

		合計	施設長	指導員	保育士	事務員	栄養士	調理員	臨床 心理士	相談員	看護師	嘱託医
児童養護施設	職員	33.5	0.7	10.8	14	2	1	4	1			
	有期・無期契約職員	4.1			2.3			0.8			1	
	派遣職員	0										
	嘱託医	0.1										0.1
	職員数計 = A	37.7	0.7	10.8	16.3	2	1	4.8	1	0	1	0.1
	職員配置必要人員	24.8	0.7	16		1	1	4	1		1	0.1
	施設必要人員	37.8	0.7	27		2	1	5	1		1	0.1
地域 養護施設	職員	4.2		2.2	2							
	有期・無期契約職員	0.2			0.2							
	派遣職員	0										
	嘱託医	0										
	職員数計 = A	4.4	0	2.2	2.2							
	職員配置必要人員	4.4	0	1.2	3							
	施設必要人員	4.4	0	1.2	3							
児童 ンター 家庭 支援 セ	職員	1.3	0.3							1		
	有期・無期契約職員	1								1		
	派遣職員	0										
	嘱託医	0										
	職員数計 = A	2.3	0.3							2		
	職員配置必要人員	2.3	0.3							2		
	施設必要人員	2.3	0.3							2		

合計職員数	職員	39	有期・無 期職員	11	派遣職員	0	合計	50
-------	----	----	-------------	----	------	---	----	----

備考 職員の兼務は、兼務割合で記入する。小数点第二位以下切捨て、小数点第一位まで記入。
 有期・無期契約職員及び派遣職員は常勤換算人数で記入。小数点第二位以下切捨て、小数点第一位まで記入。
 職員配置必要人員で、配置人数が必要で時間まで決められていない場合は、0.1と記入する。
 職員配置必要人員は国・市の人員。補助金、法外等で施設で申請する場合は含んで記入。
 派遣職員欄には、業務委託に係る職員は算入しない。
 合計職員数は、常勤換算人数ではない。
 職員数計=A には 3月31日退職者を実人員に含む。
 3月31日退職の有期・無期契約職員・派遣職員は常勤換算数で記入。
 嘱託医で、内科と歯科等届出している場合は、0.1+0.1=0.2となる。
 施設必要人員は常勤換算人数で記入。
 4月1日の異動者についての(異動増・減)は翌年度に記入。

7. 職員の年齢・経験年数に関する事項(令和2年3月31日)現在

1) 児童養護施設

	職員平均年齢	職員平均経験年数	指導員・保育士 平均年齢	指導員・保育士 平均経験年数		
令和元年度	36才	6年	34才	6年		
平成30年度	36才	7年	35才	7年		
平成29年度	36才	7年	35才	7年		

備考 7項については、職員のみとする。
 平均の小数点以下は切り捨て。
 経験年数は、聖母会経験年数のみを記載。

8. 職員の採用・退職・異動に関する事項(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1) 児童養護施設

a) 採用・退職等

			合計	施設長	指導員	保育士	事務員	栄養士	調理員	臨床 心理士	相談員	看護師	嘱託医
児童養護施設	採用	職員	7			6					1		
		有期契約職員	9			7					1	1	
		派遣職員	0										
		嘱託医	0										
	異動増	異動 職員	4		1	3							
		異動 有期・無期 契約職員	0										
	退職	職員	2		1	1							
		有期・無期 契約職員	2			1					1		
		派遣職員	0										
		嘱託医	0										
	異動減	異動 職員	4		1	3							
		異動 有期・無期 契約職員	0										

備考 採用・退職欄は、有期職員は時間数に関係なく1人とカウント。
 拠点区分間の異動増・異動減を常勤換算数で記入。
 有期職員から無期職員は記入しない。
 無期職員から職員の場合は、無期が24時間契約の場合、異動減無期の欄0.6と移動職員は1と記入。
 職員で兼務者の兼務割合が変わるとき、例えば、特養施設長・0.6通所施設長0.4の割合から
 特養施設長0.5通所施設長0.5の場合、異動増の特養施設長に0.5、通所施設長0.5と記入し、
 異動減として、特養施設長0.6通所施設長に0.4と記入する。

b) 過去3年間 採用・退職実績

			令和元年度	平成30年度	平成29年度
児童養護施設	採用	職員	6	3	4
		有期	7	1	4
		派遣			
	退職	職員	2	1	2
		有期	1	3	3
		派遣			

備考 有期・無期・派遣の人員は、常勤換算ではない。
異動については、記載しない。

9. 利用者に関する事項(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1) 児童養護施設

種別	定員	稼働月数	利用予定	稼働率	合計	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	小学校	中学校	高校生	専学
児童養護	62	12	744	73.5%	547	47	12	20	20	207	174	55	12
小規模	6	12	72	100.0%	72	0	0	0	0	36	24	12	

備考 利用予定とは、定員×稼働月数
合計は、月初日在籍者数 当年度4月1日の年齢。中途入園者は、入所月の年齢とする。
稼働率は、合計÷利用予定=%小数点第二位以下切捨て。

2) 3年間比較表

		令和元年度	平成30年度	平成29年度
児童養護	稼働率	73.5%	64.3%	73.8%
小規模	稼働率	100.0%	100.0%	100.0%

10. 入退所者に関する事項

1) 入所

入所		未満児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	小学校	中学校	高校生	合計
児童養護施設	令和元年度	2			1		1	2	1	7
	平成30年度	2				1	1	2		6
	平成29年度	2					3	3	1	9

1) 退所

退所理由		家庭復帰	里親	施設変更	進学	就職	合計
児童養護施設	令和元年度	5	1	4		1	11
	平成30年度	6	1			2	9
	平成29年度	6	1	3		3	13

11. 事故報告及び苦情に関する事項

a) 行政事故報告件数

	行政に報告した 事故件数		性の問題	暴力・ケガ	ノロウィルス	無断外出	車輛事故
児童養護施設	令和 元年度	2	1	1			
	平成 30年度	4		2		1	1
	平成 29年度	3	2	1			
地域小規模児童養護施設	令和 元年度	0					
	平成 30年度	0					
	平成 29年度	0					

b) 苦情

		第三者委員と話し 合った件数	保護者	児童	その他	
児童養護施設	令和元年度	1	1			
	平成30年度	2	2			
	平成29年度	6	3	3		
地域小規模児童養護施設	令和元年度	1	1			
	平成30年度					
	平成29年度					
児童家庭支援センター	令和元年度					
	平成30年度					
	平成29年度					

12. 会議・委員会・避難訓練に関する事項

1) 保護者会・ボランティア総会等

今年度 より新規	会議名	会議内容	令和元年度 開催数	平成29年度 参加人数	平成28年度 参加人数
		該当なし			

備考 今年度新規の場合は、○を記入
保護者会・ボランティア総会は開催毎に記入。

2) 会議

今年度 より新規	会議名	会議内容	令和元年度 開催数	平成30年度 開催数	平成29年度 開催数
	リーダー会議	事業計画及び中長期計画案の作成及び実施状況の確認。規則等変更案の検討など	12回	12回	12回
	職員会議	運営会議の検討事項の承認、全職員の事業遂行に関する合議を図り職員の意志の疎通と円滑な運営を図る	4回	4回	12回
	ケース会議	児童の自立支援計画の作成・問題を抱えている児童について話し合い支援方針を立てる	10回	12回	13回
	給食会議	児童の健全な発育・発達を支える食事の提供に努めるため給食部職員と処遇職員で話し合う	12回	12回	12回
	部会議	部署で検討が必要な事項について話し合い共通認識と意志の疎通を図る	24回	30回	29回

3) 委員会

今年度 より新規	委員会名	委員会内容	令和元年度 開催数	平成30年度 開催数	平成29年度 開催数
	防火管理委員会	児童の安全な生活を守るため各種災害対策	2回	2回	1回
	衛生委員会	伝染病疾患などの蔓延の予防・発生・防止に対応するための対策を検討	4回	1回	1回
	性と命を守る会	子どもが成長していく中で自分の成育歴・発達に伴う心身の変化をプロジェクトのメンバーが中心になって伝える	6回	6回	9回
	苦情解決委員会	児童・保護者・地域住民からの苦情を解決するため児童の権利を擁護し処遇の向上のために体制を整える	0回	0回	0回
	ハラスメント対策委員会	職員が心身ともに安心して働き続けることができるよう事例が発生した場合速やかに事態を把握し解決する	0回	0回	0回
	公益通報対応委員会	不正行為などの早期発見と是正を図り正当になされた通報行為に対して通報者を保護する	0回	0回	0回

備考 今年度新規の場合は、○を記入

4) 避難訓練

	避難訓練回数	内夜間想定避難訓練回数	内消防署合同避難訓練回数	内近隣等地域合同 避難訓練回数
当初計画	12回	1回	1回	1回
実績	12回	1回	1回	0回

13. 主務官庁監査等に関する事項(厚生労働省・都道府県・市区町村・労働基準監督署・保健所・税務署・消防署他)

監査実施日	平成31年4月18日
監査対象事項	児童家庭支援センター運営事業委託業務に係る実地検査
監査実施官庁	北海道保健福祉部子ども未来推進局
監査官名	児童相談グループ主任 西村 恵一

監査結果指摘(指示)事項	履行できなかった事項
指摘事項なし	無

監査実施日	令和1年12月3日
監査対象事項	社会福祉施設指導監査
監査実施官庁	石狩振興局 保健環境部社会福祉課
監査官名	子ども子育て支援係長 村下 理佳

監査結果指摘(指示)事項	履行できなかった事項
指摘事項なし	無

備考 指摘事項については、文書指摘事項を記載。
監査報告書添付

14. 第三者評価に関する事項

1) 児童養護施設

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	今後の受審 予定年度	第三者評価の 公表方法
受審の有無	無	無	有	令和2年度	会議で周知
費用			300,000円		

備考 第三者評価の公表を行っていれば方法を記入。例)ホームページ

15. 新規事業の開設・廃止・定員変更

開設・変更年月日	開設・廃止 定員変更	事業名	内 容
	該当なし		

備考 加算等の新規・変更等は記入不要

16. 規則・規程の改正

規則・規程名	理事会承認年月日	官公庁届出年月日
有期契約職員就業規則	令和元年9月26日	令和元年9月26日
就業規則	令和 2年3月26日	令和 2年4月9日
無期契約職員就業規則	なし	
給与規程	なし	
介護休業等に関する規則	なし	
育児休業等に関する規則	なし	

備考 当年度の理事会で承認されたものを記入

17. 許認可等に関する事項

許認可等年月日	許認可等事項
令和元年10月31日	児童養護施設 断続的な宿直又は日直勤務許可

備考 行政に申請を出し、許認可等をいただいた事項を記載。

18. 契約に関する事項(入札を含む)

単位:円

契約年月日	契約期間	契約サービス区分	契約の相手方	契約の概要	見積書数	契約金額	理事会承認
H31. 3. 31	H31. 4. 1~R2. 3. 31	児童養護施設	野村不動産 パートナーズ(株)	設備保守	1	5,198,256	○
H31. 4. 24	R1. 6. 3~R1. 7. 12	児童養護施設	榎本建設(株)	多目的ホール改修工事	3	8,000,000	○
R1. 6. 3	R1. 7. 6~R1. 7. 6	児童養護施設	ネッツトヨタ 札幌(株)	車両(ヴォクシー)	3	3,119,318	△
R1. 6. 26	R1. 8. 16~R1. 8. 16	児童養護施設	野村不動産 パートナーズ(株)	市水加圧給水ポンプ整備	1	1,058,400	
R1. 8. 9	R1. 9. 18~R1. 8. 19	児童養護施設	キャノンシステム アンドサポート(株)	パソコン7台入替	1	1,067,472	

随意契約・入札について

契約の相手方	入札・随意	業者選定理由及び一社見積理由	理事会承認年月日
野村不動産 パートナーズ(株)	随意	既存設備の多目的ホールより管理をし、施設の建物にも連動しており、既設の設備の密接不可欠の関係にある為	平成 31年 3月 28日
野村不動産 パートナーズ(株)	随意	既存設備の多目的ホールより管理をし、施設の建物にも連動しており、既設の設備の密接不可欠の関係にある為	平成 31年 3月 28日
キャノンシステム アンドサポート(株)	随意	パソコンやインターネットを使用していく中で入所児童のデーターなどのセキュリティ対策をすべて行っているため変更すると支障が出る可能性がある為	平成 31年 3月 28日
			平成 年 月 日

備考 事業年度に関わる契約について記載
 給食・工事・器具・保守・保険契約については、契約金額が100万円以上について記載。
 新規リース契約を含む。補助金・受託事業については記入不要。
 500万1円以上の理事会承認事項に○、300万1円以上500万円以下の理事長承認に△。
 上記の契約について、業者の選定理由(入札が必要な金額で、随意契約の場合入札を行わなかった理由。)
 随意契約で複数業者から見積もりを徴していない場合はその理由
 理事会承認年月日を記入。

19. 補助金・受託事業(利用者負担金除く)に関する事項

サービス区分	交付機関名	交付及び使用目的	金 額
児童養護・小規模	北広島市	児童手当	5,525,000
児童養護施設	北海道	アフターケア事業	526,521
児童養護施設	北広島市他	ショートステイ委託費	201,500
児童養護施設	北海道	一時保護委託費	403,105
児童養護施設	北海道	里親委託費	54,800
児童家庭支援センター	北海道	運営委託費	6,827,998

備考 利用者負担額除いた事項を記載。

20. 寄附金に関する事項

寄附金の受入れ状況(寄附金台帳に記載している寄附物品も含む。)

単位:円

寄附者	人数	児童養護施設
役員		
職員		
企業・商店	9	991,164
(取引業者再掲)		
利用者		
利用者の家族		
利用者の遺族		
後援会・賛助会		
その他	15	1,403,464
共同募金会	1	80,000
合計	25	2,474,628

備考 金額は、決算書と一致。

21. 借入金に関する事項

単位:円

サービス区分	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末借入金残高	借入先	借入金用途
	該当なし					

備考 外部よりの借入金について記入。
借入先が違う場合、借入先毎に記入。

22. 施設整備状況 「固定資産・建設仮勘定・修繕費」

単位:円

サービス区分	施行名・品名	数量	目的及び理由	当初・補正	理事会・理事長承認年月日	金額
児童養護施設	旧多目的ホール天井・壁工事		小規模グループケア移行の改修工事	当初	平成31年3月28日	3,150,042
児童養護施設	旧多目的ホール片開きドア6か所		小規模グループケア移行の改修工事	当初	平成31年3月28日	377,096
児童養護施設	旧多目的ホール床タイルカーペット		小規模グループケア移行の改修工事	当初	平成31年3月28日	1,196,031
児童養護施設	旧多目的ホール改築電気工事		小規模グループケア移行の改修工事	当初	平成31年3月28日	1,616,290
児童養護施設	旧多目的ホール浴室工事一式		小規模グループケア移行の改修工事	当初	平成31年3月28日	634,710
児童養護施設	市水加圧給水ポンプ整備		劣化による整備が必要な為	当初	平成31年3月28日	1,058,400

児童養護施設	事務所コピー機	1	老朽化のため	当初	平成31年3月28日	864,000
児童養護施設	車両ヴォクシー	1	老朽化のため	当初	平成31年3月28日	3,119,318
児童養護施設	ノートパソコン	7	Windows 7 保守終了のため入替	当初	平成31年3月28日	982,152
児童養護施設	職員寮ストーブ	1	故障のため	補正	令和2年3月26日	121,000
地域小規模児童養護施設	居室ストーブ	2	建物が古く寒いため各居室に暖房設備が必要	補正	令和2年3月26日	291,600

備考 修繕費は1件100万円以上の事項について記載して下さい。
固定資産は1件10万円以上を記入して下さい。
当初・補正欄には補正と記入。

23. 基本財産の処分等

サービス区分	基本財産名	数量	購入年度	取得価格	廃棄日帳簿価格	廃棄日国庫補助額	廃棄年月日	理事会承認年月日
	該当なし							

24. 基本財産以外の処分等

サービス区分	固定資産名	数量	購入年度	取得価格	廃棄日帳簿価格	廃棄日国庫補助額	廃棄年月日	理事長承認年月日
児童養護施設	小学生居室学習机	4	平成20年	3,108,000	4	0	令和1年5月30日	平成31年4月2日
児童養護施設	幼児ベット	5	平成23年	609,000	5	0	令和1年5月30日	平成31年4月2日
児童養護施設	事務所コピー機	1	平成25年	840,000	1	0	令和1年5月21日	令和1年5月7日
児童養護施設	トヨタカルディナ	1	平成15年	2,583,226	1	0	令和1年7月6日	令和1年5月7日
児童養護施設	中学生女子デイルーム液晶テレビ	1	平成20年	123,585	1	0	令和1年6月24日	令和1年6月9日
児童養護施設	ノートパソコン	6	平成23年	886,920	74,163	0	令和1年9月19日	令和1年8月19日
児童養護施設	デスクトップパソコン	1	平成20年	162,540	1	0	令和2年1月31日	令和2年1月8日
児童養護施設	車両リサイクル料	1	平成17年	11,780	11,780	0	令和1年7月6日	令和1年5月7日

備考 権利・ソフトについても記入
廃棄年月日は、理事長承認後になります。

25. 決算にあたって、この1年間施設運営等の施設長所感

・施設のユニット化に向けて多目的ホールを改築し居室として活用した。広い空間と自分の部屋、また温かな食事の提供により児童はよりくつろいだ雰囲気の中で生活できている。 ・6ユニット化に備えて入所児童を制限する等、施設全体で取り組んできた。職員には会議の度に施設の方向性を説明し理解を得て協力してもらってきた。 ・中堅職員が不足しており年齢構成のバランスが偏っているため、統率力判断力に多少欠ける雰囲気がみられた。若い職員に対しては継続して個性と能力を生かしながら育て定着化を図る。 ・定員数が減り生活空間も広くなったことにより子どもたちは落ち着いて生活できた。

承認年月日

社会福祉法人 聖母会
理事長 塩塚 俊子

印